

# 第1回「熊毛地域振興の取組方針」に関する地域懇談会

日 時：令和4年6月30日（木）

9：30～11：30

場 所：熊毛支庁3階第1会議室

## 会 次 第

1 開 会

2 熊毛支庁長あいさつ

3 委員等紹介

4 議 事

(1) 「かごしま未来創造ビジョン（改訂版）」について

(2) 「熊毛地域 地域振興の取組方針」について

(3) 同方針の見直しに向けた意見交換

- ・ 各委員からの発言
- ・ 発言を踏まえての意見交換

5 閉 会

## 「熊毛地域 地域振興の取組方針」の見直しについて

### 1 地域振興の取組方針とは

かごしま未来創造ビジョン（以下「ビジョン」という。）を補完し、ビジョンに沿って、それぞれの地域における特有の課題や取組方針を示すもの

### 2 見直しの趣旨

現在の「地域振興の取組方針」策定後、新型コロナウイルス感染症の拡大、デジタル化の進展、SDGsの推進やカーボンニュートラルの実現など、社会経済情勢が大きく変化してきており、これらへの対応が重要となってきたことから、「地域振興の取組方針」についても、改訂後のビジョンに沿って見直しをおこなうもの

※ ビジョンとは、おおむね10年後を見据えた中長期的な観点から、鹿児島を目指す姿や施策展開の基本方向などを明らかにしたもの

- ・ 平成30年3月策定
- ・ 令和4年3月改訂

### 3 見直しスケジュール（案）

月 日	項 目
6月30日	<b>第1回「熊毛地域振興の取組方針」地域懇談会</b>
7月	「熊毛地域振興の取組方針」（骨子案）作成
8月～10月	「熊毛地域振興の取組方針」（素案）作成
10月上旬	<b>第2回「熊毛地域振興の取組方針」地域懇談会</b>
11月～2月	「熊毛地域振興の取組方針」（案）作成
3月	「熊毛地域振興の取組方針」決定

## 「熊毛地域 地域振興の取組方針」（平成31年3月）策定後の主な動き

- 新型コロナウイルス感染症の拡大
- 特殊病害虫ミカンコミバエの種子島、屋久島での誘殺確認（令和元～4年6月）
- 南種子町福祉事務所開設（令和元年4月）
- 屋久島町役場 新庁舎の開庁（令和元年5月）
  - 令和元年度木材利用優良施設コンクールで屋久島町庁舎 内閣総理大臣賞受賞（令和元年11月）
- 屋久島において豪雨災害発生（令和元年5月）
  - 町内全域避難勧告発令，大規模土砂崩れによる登山者314名孤立
- ライフ・オン・ザ・ロングボード2nd Wave全国公開（令和元年5月）
- 屋久島保護区更生保護センター開所（令和元年6月）
- 屋久島町立金岳小学校・金岳中学校 新校舎落成式（令和元年7月）
- 農地整備事業（通作・保全）屋久島地区（屋久島町）橋梁補修・路面改良547m 完了（令和元年7月）
- 種子屋久高速船 就航30周年記念セミナー開催（令和元年7月）
- 種子島1市2町が川商ハウスと空き家・空き地等の利活用連携協定締結（令和元年7月）
- 水利施設整備事業 第一屋久地区（屋久島町）畑かん施設更新・整備完了（令和元年7月）
- 南種子町立西野小学校 新校舎落成式（令和元年8月）
- 屋久島高校演劇部 第43回全国高等学校総合文化祭優秀賞，創作脚本賞受賞（令和元年8月）
- 種子島開発総合センター「鉄砲館」入館者150万人達成（令和元年8月）
- なかわり桜島街道サポーター・伊関地域資源保全会 道路愛護県知事表彰受賞（令和元年8月）
- ジャパン・プロ・サーフィンツアー「サーフアイランド種子島プロ」開催（令和元年9月）
  - 会場：竹崎海岸，よきの海水浴場
- 屋久島の名を冠した4種目の魚誕生 発見から15年「ヤクシマダテイシモチ」（令和元年9月）
- 種子島アロハフェスタ開催（令和元年10月）
- ジロ・デ・種子島2019開催（令和元年10月）
- 屋久島空港の運用時間1時間延長（令和元年10月）
- マルエーフェリー屋久島寄港の乗船客数1,000人達成（令和元年11月）

- 西田農産が農林水産省等主催の民間分門農林水産研究開発功績者表彰において農林水産技術会議会長賞を受賞（令和元年11月）
- 西之表市が（株）地方創生テクノロジーラボ,（株）アーク・スリー・インターナショナルと包括連携協定締結（令和元年12月）
- 西之表市が（株）うしじまストアーと「地域における見守り活動に関する協定」締結（令和元年12月）
- サツマイモ基腐病の被害拡大（令和2年～）
- 2020サイクリング屋久島 第10回記念大会開催（令和2年2月）
- 屋久島町が屋久島高校と「屋久島高校魅力化プロジェクトに関する協定書」締結（令和2年3月）
- 農地整備事業（通作・保全）中種子1期地区（中種子町）路面改良4,422m 完了（令和2年3月）
- 基幹農道整備事業 横山地区（西之表市）農道1,427m 完了（令和2年3月）
- 西之表市が（株）オウケイウェイブと地域活性化包括連携協定締結（令和2年4月）
- 屋久島空港滑走路延伸に係る基本計画策定（令和2年5月）
- NTT屋久島（宮之浦）・小瀬田・安房・尾之間交換局エリアにおいて光通信サービス開始（令和2年6月）
- 西之表市が全日本ヨガ連盟によりヨガの聖地に認定（全国自治体で初）（令和2年6月）
- 大型で特別警報級の台風第10号が屋久島町に接近, 宮之浦港防波堤などに被害（令和2年9月）
- 「やくしま森の診療所」開院（令和2年11月）
- 広田遺跡で発掘された人骨が60年ぶりに里帰り（広田遺跡ミュージアム5周年）（令和2年11月）
- 屋久島登山歩道縄文杉線上に設置された「さしかけ」の改修工事が完了（令和2年11月）
- 東京大学未来ビジョン研究センターが包括連携協定締結（1市2町）（令和2年11月）
- 国の文化審議会が国登録有形文化財（建造物）として「遠藤家住宅主屋」を答申（令和2年11月）
- 新船「フェリー太陽Ⅱ」進水式（令和2年11月）
  - 町営船「フェリー太陽Ⅱ」（499 t）就航（令和3年3月）
- 2014年に種子島から打ち上げられた「はやぶさ2」が帰還（令和2年12月）
- 西之表市が, 国内最古級の石整器等が安城地区から出土したことを発表（令和2年12月）
- 島産材の島外移出の取組
  - 種子島：製材用の原木の島外移出（令和3年2月）
- 西之表港における耐震強化岸壁の新規事業化（令和3年3月）
- 県営中山間地域総合整備事業 南種子地区（南種子町）ほ場整備15.3haなど完了（令和3年3月）

- 県営農地環境整備事業 中田地区（中種子町）ほ場整備10.2ha完了（令和3年3月）
- 県営農地環境整備事業 阿嶽地区（中種子町）ほ場整備10.4ha完了（令和3年3月）
- 西之表市と（株）川商ハウスが立地協定を締結（令和3年4月）
- 東京2020オリンピック聖火リレー（西之表市街地）（令和3年4月）
- 国が馬毛島周辺でデモフライトを実施（令和3年5月）
- 屋久島灯台と屋久島灯台石塀が、屋久島町初の国の登録有形文化財に登録（令和3年6月）
- J T（日本たばこ産業）が廃作を募集し種子島の葉たばこ作付減少（令和3年8月）
- 中種子町から出荷された子牛の枝肉が九州の枝肉共進会で上位3賞を独占（令和3年9月）
- 西之表市がヤフー（株）と災害に係る情報発信等に関する協定を締結（令和3年9月）
- 西之表市・出光興産・種子島石油が公共交通のEV関連事業の共同実証開始（令和3年11月）
  - 種子島1市2町，東京大学，出光興産が包括連携協定締結（令和4年2月）
  - 西之表市が予約制地域乗り合いタクシー（どんがタクシー）に電気自動車導入 出光興産との共同事業（令和4年2月）
- 屋久島憲法100周年記念シンポジウム開催（令和3年11月）
- 南種子町が（有）かごしま有機生産組合と「有機農業」を軸とした地域活性化に関する包括連携協定締結（令和3年12月）
- 新型主力ロケット「H3」の発射再延期（令和4年1月）
- 西之表市と（株）ウルトラエックスが立地協定を締結（令和4年1月）
- トンガ沖の海底火山噴火によるブリ稚魚の大量死（令和4年1月）
  - キビナゴの記録的な不漁続く（令和2年から）
- 「種子島安納いも」の地理的表示（GI）保護制度登録（令和4年3月）
- 西之表市と（株）ミクラクリエイトが立地協定を締結（令和4年3月）
- 西之表市と第一生命保険（株）が包括連携協定締結（令和4年3月）
- 南種子町が「サテライトオフィスみなみたね」開設（令和4年4月）
- 国が馬毛島へのFCLP移転等に係る環境影響評価の準備書を縦覧（令和4年4月）
  - 国が管内1市3町で馬毛島基地（仮称）建設事業に係る環境影響評価準備書の説明会開催（令和4年5月）
- 農地整備事業（通作・基幹）現和地区（西之表市）農道整備6,222mの新規事業採択（令和4年4月）
- 種子屋久農協がブロッコリーのかごしまブランド団体認定（令和4年4月）
- 口永良部島の噴火警戒レベル2から1へ引き下げ（令和4年5月）
- さとうきびの生産量が5年ぶりに15万トンを上回る（令和4年5月）
- ロボティクス・ノーツ10周年（令和4年6月）
- さとうきびの新品種「はるのおうぎ」栽培開始（令和4/5年産）

# 熊毛地域の概況

令和 4 年 6 月

鹿児島県熊毛支庁

# 目 次

## I 熊毛地域の概況

1	位置及び面積	1
2	気 象	3
3	人 口	4
4	土地利用状況	5
5	地域経済の動向	6
6	交通基盤	8
7	交通体系と入込客数	10

# I 熊毛地域の概況

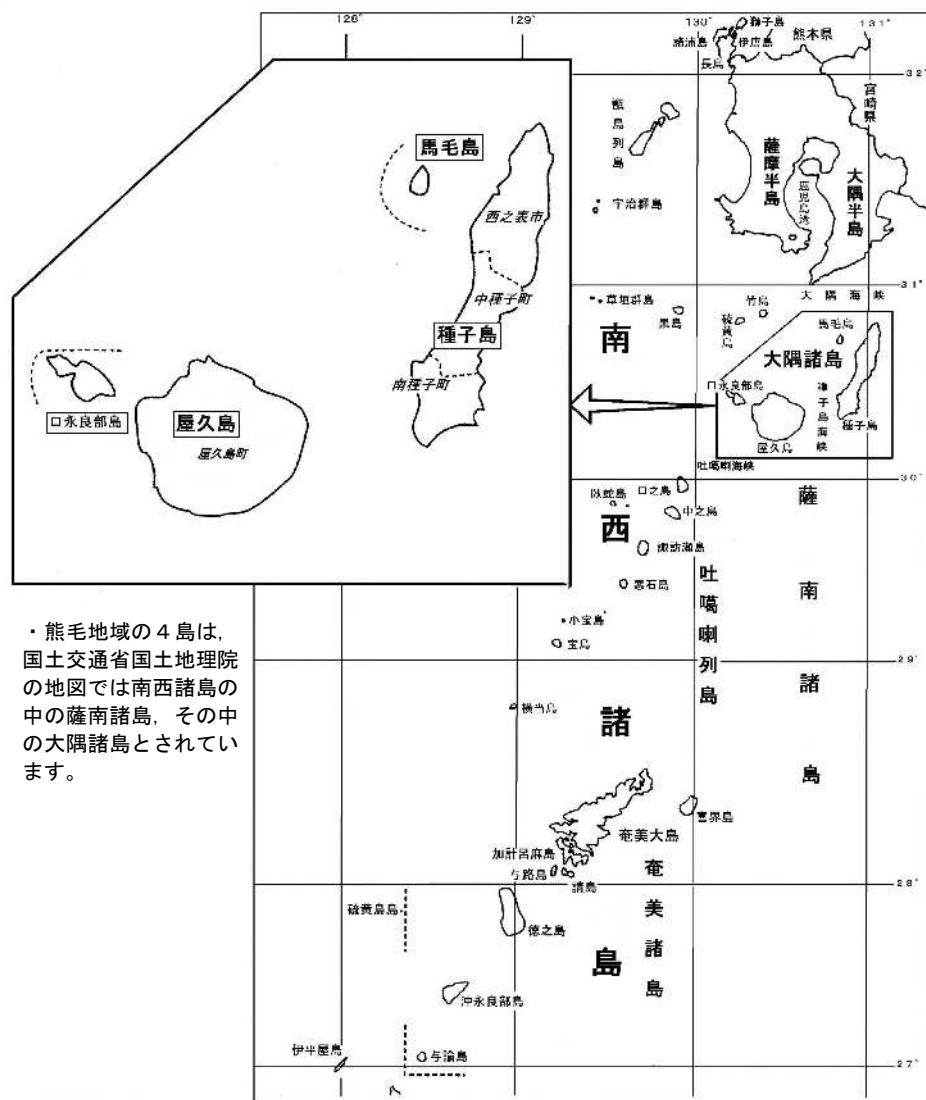
## 1 位置及び面積

熊毛地域は、九州本土の最南端佐多岬から、南東方向約40km、南西方向約60kmの洋上にある種子島、屋久島、口永良部島及び馬毛島の4島からなっており、面積は992.08 k m<sup>2</sup>、県土面積の1割強、県の全離島面積の約4割を占めています。

**種子島**は、細長く平坦な島で、我が国の歴史に大きな影響を与えた鉄砲伝来の地であり、また、我が国唯一の実用衛星の打ち上げ基地がある島です。

**屋久島**は、九州最高峰の宮之浦岳などの高峰がそびえる円形の山岳島で、平成5年12月に、我が国で初めて世界自然遺産に登録された島です。

また、平成24年3月には、霧島屋久国立公園の再編により、屋久島国立公園に指定されています。



[単位:k m<sup>2</sup>]

区分	種子島				屋久島	合計
行政区画	西之表市 (馬毛島)	中種子町	南種子町	小計	屋久島町 (口永良部島)	
面積	205.47 (8.17)	136.84	109.71	452.02	540.06 (35.81)	992.08

(資料：令和3年全国都道府県市区町村別面積調(国土地理院))

(参考) 県土面積に占める割合 10.8% (県土面積 9,186.42k m<sup>2</sup>)



#### (1) 種子島

種子島は、北北東から南南西の方向に細長く伸びた中くびれの紡錘型の島で長さ58km、最大幅12km、最もくびれた中種子町野間付近の幅は6 kmです。

基本的には海岸段丘の島で、およそ8 kmにわたるくびれ部を境にして、北東部及び南西部は、海拔200m前後の丘陵性の山地が連なり、最高点は282mという平坦な島です。

島内の河川は、数が多いものの島の形状からいずれも矮小で水量も少なくなっています。これらの小河川沿いに平地が細長く発達し、島の南部海岸付近では沖積低地がかなり広がっています。

海岸は磯海岸の発達が見られ、小規模な海岸砂丘も存在します。南部では、海岸線の砂浜から急に絶壁となっている所が多く、熊野、竹崎、門倉岬などは景勝の地となっています。

#### (2) 馬毛島

馬毛島は、西之表市の西方約12kmの海上に、種子島と平行する形で浮かぶ小島です。最高点72mの極めて平坦な島で、水利には恵まれていません。

#### (3) 屋久島

屋久島は、海上に浮かぶ巨大な丸い陸塊で、全島ほぼ山地です。

中央部は九州最高峰の宮之浦岳（1,936m）をはじめ、永田岳（1,886m）、黒味岳（1,831m）等の山群が奥岳を形成しています。1,500m以上の山が20数座、1,000m以上は45座以上あり、洋上のアルプスと呼ばれています。

山麓は、永田から西回りで栗生にかけては、険しい山地を形成し、宮之浦から東回りで栗生にかけては、最大幅3 kmに達する三日月形の海岸段丘が発達し、農業と生活の舞台となっています。

河川は、島の中央部から放射状に流下する流れの急な中小河川で、その数は140にも及びます。永田川、栗生川など、一部の河川の河口には、花崗岩質の砂浜が形成されていますが、それ以外の海岸は崖や岩場となっています。

#### (4) 口永良部島

口永良部島は、西北西から東南東の方向に長軸をもつ瓢箪（ひょうたん）形をした火山島です。

最高点は古岳の657mで、低地は海岸線の湾入部にわずかに見られるだけで、周囲の大部分は、幅の狭い磯に急な崖が迫っています。

平成27年5月29日に新岳で爆発的噴火が発生し、全員が島外へ避難しましたが、平成28年10月25日に全ての避難指示が解除されました。

その後も噴火警戒レベルは2から4の間で推移していましたが、令和4年5月25日に噴火警戒レベルが1（活火山であることに留意）に引き下げられました。

## 2 気 象

平年値でみると、年平均気温は種子島19.8℃、屋久島19.6℃で、亜熱帯気候に属しています。

夏期（6月～8月）の日最高気温の平均は、種子島、屋久島ともに29.4℃で、鹿児島市の30.7℃より1.3℃低いのに対し、冬期（12月～2月）の日最低気温の平均は種子島9.3℃、屋久島9.7℃で鹿児島市の5.7℃より3.4～3.8℃も高く、寒暖の差が小さいことが特徴です。

風は夏期を除いて北西の風が卓越し、年平均風速は種子島5.7m/s、屋久島5.1m/sです。

年降水量は、種子島・鹿児島市では約2,400～2,500mmですが、屋久島では、その2倍近い約4,600mmの降水量となっています。

平年値（1991～2020年）

区 分	種子島（西之表市）	屋久島（屋久島町）	鹿 児 島 市
気 温 (℃)	年平均 19.8	19.6	18.8
降 水 量 (mm)	年間 2,532.5	4,651.7	2,434.7
平均風速 (m/s)	年平均 5.7	5.1	3.3
日照時間 (h)	年間 1,822.0	1,515.8	1,942.1

(資料：鹿児島地方気象台)

### 3 人 口

#### (1) 総人口

熊毛地域の総人口は、昭和35年をピークに減少の一途を続けており、令和2年の国勢調査では、種子島27,692人、屋久島（口永良部島を含む）11,858人で、熊毛計は39,550人となっており、これは構成比で県全体の2.5%になります。

島別に見ても、種子島、屋久島両島ともに減少しており、熊毛計では4万人を割り込む結果となっています。

(単位：人，%)

市 町 名	昭和35年	平成7年	平成17年	平成27年	令和2年	R2/H7	
種 子 島	西之表市	32,645	19,822	18,198	15,967	14,708	74.2
	中種子町	19,321	10,027	9,194	8,135	7,539	75.2
	南種子町	12,566	7,422	6,751	5,745	5,445	73.4
	小 計	64,532	37,271	34,143	29,847	27,692	74.3
屋久島町	24,010	13,593	13,761	12,913	11,858	87.2	
熊毛計	88,542	50,864	47,904	42,760	39,550	77.8	
県人口	1,963,104	1,794,224	1,753,179	1,648,177	1,588,256	88.5	

注1) 昭和35年～令和2年については、国勢調査の人口を掲載している。

注2) 昭和35年～平成17年については、旧上屋久町と旧屋久町を合算した数を掲載している。

#### (2) 65歳以上人口

高齢化の進行度合を示す65歳以上の人口比率は、平成7年には県平均19.7%に対し21.9%でしたが、令和2年には、県平均32.5%を5ポイント上回る37.5%となっています。

(単位：人，%)

市 町 名	昭和35年	平成7年	平成17年	平成27年	令和2年	R2/H7	
種 子 島	西之表市	1,869	4,201	5,227	5,465	5,601	+33.3%
	中種子町	1,131	2,371	2,948	2,907	2,967	+25.1%
	南種子町	661	1,560	1,955	1,899	1,963	+25.8%
	小 計	3,661 (5.7)	8,132 (21.8)	10,130 (29.7)	10,271 (34.4)	10,531 (38.0)	+29.5% (+16.2P)
屋久島町	1,318 (5.5)	2,986 (22.0)	3,783 (27.5)	4,049 (31.4)	4,319 (36.4)	+44.6% (+14.4P)	
熊毛計	4,979 (5.6)	11,118 (21.9)	13,913 (29.0)	14,320 (33.5)	14,850 (37.5)	+33.6% (+15.6P)	
県 計	141,121 (7.2)	353,857 (19.7)	434,559 (24.8)	479,734 (29.4)	516,756 (32.5)	+46.0% (+12.8P)	

注1) 昭和35年～令和2年については、国勢調査の人口を掲載している。

注2) 昭和35年～平成17年については、旧上屋久町と旧屋久町を合算した数を掲載している。

注3) ( ) 内は総人口に占める65歳以上人口の割合

## 4 土地利用状況

### (1) 土地利用状況

熊毛地域は林野面積が73.3%と大部分を占め、耕地面積が9.4%となっています。

特に屋久島は林野面積の割合が89.9%と高くなっており、このうち70.8%は国有林です。種子島も林野面積の割合が53.6%と高く、耕地面積は18.6%となっています。

(単位：ha, %)

区分	種子島	構成比	屋久島	構成比	熊毛計	構成比	県計	構成比
林野面積	24,248	53.6	48,568	89.9	72,816	73.3	594,536	64.7
国有林	3,325	7.3	38,286	70.8	41,611	41.9	154,402	16.8
民有林	20,923	46.2	10,282	19.0	31,205	31.4	440,134	47.9
耕地面積	8,440	18.6	937	1.7	9,377	9.4	112,900	12.3
田	1,659	3.7	124	0.2	1,783	1.8	35,200	3.8
畑	6,780	15.0	813	1.5	7,593	7.6	77,600	8.4
その他	12,571	27.8	4,539	8.4	17,110	17.3	211,206	23.0
総面積	45,259	100.0	54,044	100.0	99,303	100.0	918,642	100.0

(資料：耕地面積：農林水産省「作物統計調査」(R4. 2. 28公表)，林野面積：鹿児島県森林・林業統計(R3年度)，総面積：国土地理院(R3年度))

注) 四捨五入の関係で総数と内訳の計は一致しない。

### (2) 農作物の作付状況

種子島は平坦で畑地が多く、主な作物の作付面積は、さとうきびが2,176ha、さつまいもが1,653ha、早期水稻が727haとなっています。

屋久島は、海岸沿いの耕地を中心に、ぽんかん、たんかん等の果樹の作付面積が358haとなっています。

(単位：ha, %)

	種子島	構成比	屋久島	構成比	計	構成比
作付面積	7,072	100.0	579	100.0	7,651	100.0
さとうきび	2,176	30.8	—	—	2,176	28.4
飼料作物	1,696	24.0	60	10.4	1,756	23.0
さつまいも	1,653	23.4	12	2.1	1,665	21.8
早期水稻	727	10.3	18	3.1	745	9.7
果樹	42	0.6	358	61.8	400	5.2
その他	778	11.0	131	22.6	909	11.9

(資料：市町報告(R2年3月))

注) 四捨五入の関係で総数と内訳の計は一致しない。

## 5 地域経済の動向

### (1) 産業別就業人口

平成30年度の熊毛地域全体の就業人口は22,595人で、県全体の2.9%を占めています。

産業別に見ると、第1次産業の構成比は22.4%で、県全体の第1次産業構成比と比較すると13.6ポイント高く、第2次産業では5.6ポイント低く、第3次産業では8.1ポイント低くなっています。

(平成30年度)

区 分	就 業 者 (人)				構 成 比 (%)			
	種子島	屋久島	熊毛計	県	種子島	屋久島	熊毛計	県
第1次産業	4,328	739	5,067	69,009	27.3	11.0	22.4	8.8
農 業	4,065	525	4,590	61,535	25.6	7.8	20.3	7.8
林 業	59	100	159	2,177	0.4	1.5	0.7	0.3
水産業	204	114	318	5,297	1.3	1.7	1.4	0.7
第2次産業	1,927	1,016	2,943	146,499	12.2	15.1	13.0	18.6
うち建設業	1,306	514	1,820	64,108	8.2	7.6	8.1	8.1
第3次産業	9,598	4,987	14,585	572,076	60.5	74.0	64.5	72.6
計	15,853	6,742	22,595	787,584	100.0	100.0	100.0	100.0
対県シェア	2.0%	0.9%	2.9%	-	(資料：市町村民所得推計報告書)			

注) 四捨五入の関係で総数と内訳の計は一致しない。

### (2) 農家戸数の推移

令和2年の農家戸数は2,945戸で、平成27年と比較すると990戸減少しており、減少率は25.2%で、県平均の24.4%を上回っています。

(単位：戸，%)

区 分	農 家 戸 数				増 減 率		
	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年	R2/H17	R2/H22	R2/H27
種子島	4,323	3,891	3,270	2,386	△44.8	△38.7	△27.0
屋久島	888	797	665	559	△37.0	△29.9	△15.9
熊毛計	5,211	4,688	3,935	2,945	△43.5	△37.2	△25.2
県	88,825	78,102	63,943	48,360	△45.6	△38.1	△24.4
対県シェア	5.9%	6.0%	6.2%	6.1%	(資料：農林業センサス)		

### (3) 市町村内総生産額

平成30年度の熊毛地域全体の総生産額は140,070百万円で、県全体の2.5%を占めています。

産業別にみると、第1次産業の構成比は7.4%で、県全体の第1次産業の構成比と比較すると2ポイント高く、第2次産業では5.7ポイント低く、第3次産業では3.7ポイント高くなっています。

(平成30年度)

区 分	総 生 産 額 ( 百 万 円 )				構 成 比 (%)			
	種子島	屋久島	熊毛計	県	種子島	屋久島	熊毛計	県
第1次産業	9,041	1,365	10,406	301,129	9.6	3.0	7.4	5.4
うち農業	8,137	927	9,064	233,681	8.6	2.0	6.5	4.2
うち林業	432	210	642	11,534	0.7	0.5	0.5	0.2
うち水産業	473	228	701	55,914	0.5	0.5	0.5	1.0
第2次産業	11,094	10,820	21,914	1,183,375	11.8	23.7	15.6	21.3
うち建設業	6,506	3,610	10,116	387,836	6.9	7.9	7.2	7.0
第3次産業	73,686	33,296	106,982	4,033,790	78.1	72.8	76.4	72.7
小 計	93,821	45,481	139,302	5,518,294	100.0	100.0	100.0	100.0
輸入品に課される税・関税等	518	250	768	30,379	—	—	—	—
生産額計	94,338	45,732	140,070	5,548,673	—	—	—	—
対県シェア	1.7%	0.8%	2.5%	—	(資料：市町村民所得推計報告書)			

注) 単位未満の金額は四捨五入したため内訳と計が一致しない場合がある。

### (4) 市町村民所得

平成30年度における熊毛地域の市町村民所得の合計は、約999億円で、対前年度比98.0%となっています。

県民1人当たりの所得に対する管内1人当たりの所得の割合は、平成30年度は97.3%となっています。

市 町 村 名	総 額 ( 百 円 )			1 人 当 たり 所 得 ( 円 )			対 1 人 当 たり 県 民 所 得 (%)		
	28年度	29年度	30年度	28年度	29年度	30年度	28年度	29年度	30年度
西之表市	36,250	37,442	36,985	2,315	2,420	2,427	96.5	96.3	96.7
中種子町	19,271	19,835	19,109	2,403	2,516	2,452	100.2	100.1	97.7
南種子町	14,099	14,712	14,346	2,511	2,630	2,593	104.7	104.7	103.3
種子島計	69,620	71,989	70,440	2,377	2,487	2,466	99.1	99.0	98.3
屋久島町	29,000	29,931	29,420	2,286	2,391	2,384	95.3	95.2	94.9
熊毛地区計	98,620	101,920	99,860	2,349	2,458	2,441	98.0	97.9	97.3
県民所得	—	—	—	2,398	2,511	2,509	—	—	—

(資料：平成30年度市町村民所得推計報告書)

## 6 交通基盤

### (1) 港 湾

**種子島**には、県管理の重要港湾1港（西之表港），地方港湾3港（島間港，浜津脇港，田之脇港），市町管理の地方港湾16港があります。

**屋久島**には、県管理の地方港湾4港（宮之浦港，安房港，栗生港，上屋久元浦港），町管理の地方港湾10港があります。

区分	港格	管理者	数	港 名
種子島	重要	県	1	西之表港
	地方	県	3	島間港，浜津脇港，田之脇港
		市町	16	・西之表市（9港） 種子島(6)：上之古田港，大久保港，伊関港，浅川港，立山港，大崎港 馬毛島(3)：馬毛島岬港，玉籠港，椎ノ木港 ・中種子町（4港） 牧川港，屋久津港，増田港，大塩屋港 ・南種子町（3港） 広田港，門倉港，田尻港
	小 計		20	県管理港4，市町管理16港
屋久島	地方	県	4	宮之浦港，安房港，栗生港，上屋久元浦港
		町	10	・屋久島町 屋久島(8)：上屋久永田港，榊川港，楠川港，中間港，湯泊港，小島港， 尾之間港，鯛ノ川港 口永良部島(2)：湯向港，岩屋泊港
	小 計		14	県管理4港，町管理10港
合 計			34	県管理8港，市町管理26港

### (2) 空 港

**種子島空港**は、島の中央部に位置し、小型ジェット機の就航可能な2,000mの滑走路を有する地方管理空港として平成18年3月に供用開始しました。

**屋久島空港**は、昭和38年7月に地方管理空港として供用開始しました。

空 港 名	所 在 地	滑 走 路	就航機種
種子島空港	中種子町増田	2,000m×45m	A T R (48席)， A T 7 (70席) E 7 0 型(76席)
屋久島空港	屋久島町小瀬田	1,500m×45m	A T R (48席)， A T 7 (70席)

### (3) 道 路

**種子島**は、南北に約58km、車で1時間30分程度を要する細長く平坦な島で、島内の道路網は比較的整っています。

このうち、県が管理している道路は、国道1路線と県道9路線があり、国道と主要地方道が概ね島を縦断して道路網の骨格をなし、他の県道や市道・町道がそれを補完する形となっています。

**屋久島**は、円い山岳島で、道路網は、島を一周する主要地方道2路線と、市街地と観光地等を連絡する一般県道3路線が骨格となっており、町道がこれらを補完する形となっています。

**熊毛管内の道路整備率**は、県管理分の改良率は93.9%、舗装率は100.0%、市町管理の改良率は82.0%、舗装率は92.8%となっています。

(令和3年4月1日現在)

	種子島	屋久島	合 計	改良率	舗装率	備 考
一般国道	1		1	100.0	100.0	国道58号
主要地方道	2	2	4	93.4	100.0	[種子島] ・西之表南種子線 ・野間十三番西之表線 [屋久島] ・上屋久屋久線 ・上屋久永田屋久線
一般県道	7	3	10	92.0	100.0	[種子島] ・伊関国上西之表港線 ・西之表港線 ・新種子島空港線 ・茎永上中線 ・野間島間港線 ・種子島空港線 ・国上安納線 [屋久島] ・屋久島公園安房線 ・安房港線 ・白谷雲水峡宮之浦線
県管理計	10	5	15	93.9	100.0	
市町道	695	316	1,011	82.0	92.8	
熊毛計	705	321	1,026	84.9	94.5	
県 計	—	—	—	72.9	92.0	

資料：道路現況調書



## 7 交通体系と入込客数

### (1) 交通体系

#### ① 航路

航路は、高速船ジェットfoil「トッピー&ロケット」が6隻と貨客定期フェリー4隻、貨物定期フェリー2隻が運航しています。

高速船ジェットfoilは平成元年7月から鹿児島港・指宿港・西之表港・宮之浦港間に就航し、著しく時間距離が短縮されました。また、平成7年4月には、宮崎港及び安房港の航路も新設（宮崎航路は平成12年3月に廃止）、平成18年3月からは島間港にも寄港が開始されました（島間寄港は平成19年6月から休止）。

平成24年1月に、ジェットfoilを運航する2社の共同合弁会社として新会社が設立され、平成24年4月からは現行6隻での運航となっています。

貨客定期フェリーは、鹿児島港と西之表港、宮之浦港間の直行便が各1隻、鹿児島港から西之表港経由宮之浦港の航路が1隻就航し、それぞれ1日1往復しています。

また、屋久島町営フェリーが宮之浦港と島間港・口永良部漁港の間を1日1往復しています。

貨物定期フェリーは、鹿児島港と西之表港の間を2隻運航しています。

※ 平成30年3月4日から、「奄美・沖縄」航路上り便において、フェリー波之上が屋久島（宮之浦港）への寄港（一定数以上の予約があった場合で、旅客輸送のみ）を開始しています。

（令和3年4月以降は、「フェリーあけぼの」を加えた2隻体制。）

#### ② 航空路

種子島では、日本エアコミューターが種子島・鹿児島間でATRを1日4往復運航しています。また、夏期と年末年始には、臨時便として種子島・大阪（伊丹）間でE70型が1日1往復運航しています。

屋久島では、日本エアコミューターが、屋久島・鹿児島間でAT7を1日3往復、ATRを1往復運航し、屋久島・大阪間及び屋久島・福岡間でATRを1日1往復運航しています。

#### ア 種子島～鹿児島

i 佐多岬からの洋上最短距離 …………… 40 km

ii 鹿児島港～西之表港航路距離 …………… 118 km

iii 所要時間等

(R4.6.1現在)

区分	区間	名称・機種	所要時間	運航回数
船舶	西之表港～鹿児島港	ジェットfoil 「トッピー&ロケット」	約1時間35分 (直行の場合)	1日5往復
		フェリー「プリンセスわかさ」	約3時間30分	1日1往復
		貨物フェリー「新さつま」 貨物フェリー「新種子島丸」	約3時間30分 同上	1日1往復 同上
航空機	種子島空港～鹿児島空港	A.T.R.(48席) A.T.7(70席)	約30～40分	1日4便

注) 船舶の運航回数は、指宿・屋久島経由を含む。

イ 屋久島～鹿児島

- i 佐多岬からの洋上最短距離 ..... 60 km
- ii 鹿児島港～宮之浦港航路距離 ..... 135 km
- iii 所要時間等 (R4.6.1現在)

区分	区 間	名 称 ・ 機 種	所 要 時 間	運航回数
船 舶	宮之浦港 ～ 鹿児島港 安房港	ジェットフォイル 「トッピー&ロケット」	約1時間50分 (直行の場合) 約2時間45分 (西之表港経由)	1日4往復
		フェリー「屋久島2」	約4時間00分	1日1往復
航空機	屋久島空港～鹿児島空港	A.T.7(70席)	約40分	1日3往復
		A.T.R(48席)	同 上	1日1往復

注) 船舶の運航回数は、指宿・種子島経由を含む。

ウ 種子島～屋久島～種子島～鹿児島

- i 所要時間等 (R4.6.1現在)

区分	区 間	名 称 ・ 機 種	所 要 時 間	運航回数
船 舶	西之表港～宮之浦港	フェリー「はいびすかす」	約2時間	1日1往復
	西之表港～谷山港	フェリー「はいびすかす」	約3時間40分	1日1往復

エ 種子島～屋久島～口永良部島

- i 洋上最短距離 種子島～18km～屋久島～12km～口永良部島
- ii 西之表港～宮之浦港航路距離 ..... 55 km
- 西之表港～安房港航路距離 ..... 57 km
- 島間港(南種子町)～宮之浦港航路距離 ..... 30 km
- iii 所要時間等 (R4.6.1現在)

区分	区 間	名 称 ・ 機 種	所 要 時 間	運航回数
船 舶	西之表港 ～ 宮之浦港 安房港	ジェットフォイル	約50分	1日3往復
		「トッピー&ロケット」		
	島間港～宮之浦港 宮之浦港～口永良部漁港	フェリー「太陽II」	約1時間5分 約1時間35分	1日1往復 1日1往復

オ 屋久島～大阪(平成21年9月1日就航)

- i 所要時間等 (R4.6.1現在)

区分	区 間	名 称 ・ 機 種	所 要 時 間	運航回数
航空機	屋久島空港～伊丹空港	A.T.R(48席)	約90～110分	1日1往復

カ 屋久島～福岡(平成23年3月27日就航)

- i 所要時間等 (R4.6.1現在)

区分	区 間	名 称 ・ 機 種	所 要 時 間	運航回数
航空機	屋久島空港～福岡空港	A.T.R(48席)	約65分	1日1往復

(2) 入込客数等

入込客数は、平成19年度をピークに減少傾向が続いています。

令和3年度の熊毛地域への入込客数は、前年度比14.7%増（種子島14%増、屋久島15.6%増）となっている。

① 入込客数

年度	交通機関別	入込客数(人)			対前年度比(%)
		種子島	屋久島	計	
19	船	406,836	332,028	738,864	117.0
	航空機	47,069	74,359	121,428	87.2
	計	453,905	406,387	860,292	111.6
29	船	252,182	204,662	456,844	108.8
	航空機	42,687	91,310	133,997	107.8
	計	294,869	295,972	590,841	108.6
30	船	251,476	194,356	445,832	97.6
	航空機	44,511	85,980	130,491	97.4
	計	295,987	280,336	576,323	97.5
元	船	246,877	178,203	425,080	95.3
	航空機	42,724	74,762	117,486	90.0
	計	289,601	252,965	542,566	94.1
2	船	131,739	87,181	218,920	51.5
	航空機	21,463	46,807	68,270	58.1
	計	153,202	133,988	287,190	52.9
3	船	146,217	91,317	237,534	108.5
	航空機	28,379	63,629	92,008	134.8
	計	174,596	154,946	329,542	114.7

② 大型観光船の入港実績

(単位：回，人，%)

年度	入港回数			対前年度比	乗客数			対前年度比
	種子島	屋久島	計		種子島	屋久島	計	
29	3	27	30	120.0	1,191	8,072	9,263	106.5
30	2	19	21	70.0	1,442	5,436	6,878	74.3
元	5	16	21	100.0	2,663	5,358	8,021	116.6
2	0	0	0	0	0	0	0	0
3	0	3	3	皆増	0	544	544	皆増

③ 種子島空港へのジェットチャーター便の運航実績 (単位：本，人，%)

年度	運航本数	対前年度比	乗降客数	対前年度比
29	72	163.6	7,281	151.7
30	70	97.2	7,918	108.7
元	73	104.3	8,482	107.1
2	37	50.7	4,425	52.2
3	35	94.6	2,853	64.5

(資料：種子屋久観光連絡協議会)

## 「熊毛地域振興の取組方針」に関する地域懇談会設置要綱

## (設置)

第1条 「かごしま未来創造ビジョン」の改訂を踏まえ、熊毛支庁管内における必要な取組をまとめた「熊毛地域 地域振興の取組方針」の見直しを行うに当たって助言を得るため、「熊毛地域振興の取組方針」に関する地域懇談会（以下「地域懇談会」という。）を設置する。

## (所掌事務)

第2条 地域懇談会の所掌事務は、次のとおりとする。

- (1) 「熊毛地域 地域振興の取組方針」の見直しに当たっての協議・助言等
- (2) その他熊毛支庁長が特に必要と認めること

## (組織)

第3条 地域懇談会は委員17人程度で組織する。

2 委員は、熊毛支庁管内で様々な分野で活動されている人のうちから熊毛支庁長が指名し委嘱する。

## (任期)

第4条 委員の任期は、委嘱の日から地域懇談会が解散するときまでとする。

## (地域懇談会)

第5条 地域懇談会は、熊毛支庁長が招集する。

2 地域懇談会の会議における座長は熊毛支庁長とし、議事を整理するほか、会務を総括する。

3 座長が不在のときは、熊毛支庁総務企画部長がその職務を代行する。

4 地域懇談会には、必要に応じ関係職員を出席させ、関係事項について説明をさせ、又は意見を述べさせることができる。

5 熊毛支庁長が必要と認める場合は、地域懇談会に委員以外の者を出席させ意見を述べさせることができる。

## (報償費及び旅費)

第6条 委員及び前条第5項の規定により用務に従事した者には、「報償費」及び「旅費」を支給することができる。

## (地域懇談会の公開)

第7条 地域懇談会は公開を原則とするが、地域懇談会で協議の上、非公開とすることができる。

## (庶務)

第8条 地域懇談会の庶務は、熊毛支庁総務企画部総務企画課において処理する。

## (雑則)

第9条 この要綱に定めるもののほか、地域懇談会の運営等に関し必要な事項は、別に定める。

## (解散)

第10条 地域懇談会は、令和5年3月31日をもって解散する。

## 附 則

この要綱は、令和4年6月10日から施行する。

# 「熊毛地域振興の取組方針」に関する地域懇談会委員名簿

(敬称略)

氏名	所属・役職
あらかき まさたか	株式会社アイランドコーポレーション 代表取締役
荒木 政孝	
いしどう かよこ	南種子町農業委員会 会長
石堂 かよ子	
いしばし まさずみ	県建設業協会種子島支部 副支部長
石橋 正澄	
いのうえ りつこ	熊毛地区母子寡婦福祉会 会長
井上 律子	
いわぎり さとみ	訪問看護ステーション雲雀 管理者
岩切 里美	
かざま たつひろ	南種子町定住促進実行委員会 会長
風間 辰広	
かわひがし まゆう	おさかなマイスターアドバイザー
川東 繭右	
きたのその ちはる	中種子町教育委員会 教育長
北之園 千春	
さかい みちお	種子島観光協会 会長
酒井 通雄	
たのうえ かんよう	熊毛地区医師会 会長
田上 寛容	
どうはら としのり	南種子町民生委員児童委員協議会 会長
堂原 利則	
ひだか せいき	屋久島農業青年クラブ
日高 正貴	
まえだ とくひろ	種子島森林組合 代表理事組合長
前田 徳弘	
まつおか たくろう	特定非営利活動法人 こすも グループホーム太陽 副所長・サービス管理責任者
松岡 拓郎	
まつもと かおる	屋久島町立屋久杉自然館 館長
松本 薫	
むらお しょうこ	コアストリートIN中種子運営委員会 代表 ひめ工房 代表
村尾 祥子	
やました しんすけ	種子島石油株式会社 代表取締役専務
山下 真介	